

(3) 平成23年の月別の指数の動き

平成23年の総合指数の各月の動きを対前年でみると、平成23年1月の対前年同月比は▲2.1%であったが、下落幅は徐々に縮小し、同年9月には上昇に転じた。主要要因を中分類でみると、4月に前年同月の高校授業料無償化による「授業料等」の影響がなくなり、10月に前年同月のたばこ税引き上げによる「たばこ」の影響がなくなったことがあげられる。

また、「教養娯楽用耐久財」は昨年3月のエコポイントの終了および7月の地上デジタル移行による需要減の影響を受け、各月とも下落の方向に最も大きく寄与していたが、年の後半には寄与度が縮小してきた。

さらに、9月以降は「生鮮魚介」が上昇に寄与した。

(図3、4、5-1、5-2、表3)

